

殿

仕 様 書

位置検知型漏水センサ用断線検知端末

Z T - L

年 月

タ ッ タ 電 線 株 式 会 社

システム・エレクトロニクス事業本部

シ ス テ ム 事 業 部

承認	確認	作成

<<<安全にご使用いただくために！>>>

**警告事項について**

警告ラベル又は下記の警告事項を無視して誤った取り扱いをすると死亡や重傷を負う恐れがある他、火災・感電・故障の原因となります。

**警告事項****厳禁！**

- 断線検知端末を電線として使用しないで下さい。
- 断線検知端末を敷設する場合、金属部と接触しないようにして下さい。漏水発生時に正確な位置検出で出来なくなります。

**確認して下さい！**

- 施工及び結線は、断線検知端末ケース裏面の取扱説明書に指示された方法で行なって下さい。
- 断線検知端末は1回路につき1本でご使用下さい。
- 汚れた断線検知端末は機能を発揮しません。取り扱いに注意して下さい。
- 取り扱い時は水濡れ厳禁。

**設置しないで下さい！**

- 結露が発生する場所への直接取り付けは避けて下さい。
- 断線検知端末と漏水センサとの接続は専用の直線スリーブで行なって下さい。また、接続部が電氣的に接触しないようビニルテープ等で絶縁処理を行なってください。
- 断線検知端末と取り付け面は出来るだけ密着させて下さい。部分的な隙間は床などの水平面で2mm以下、柱・梁などの垂直面で1mm以下にして下さい。
- 断線検知端末に使用しているセンサの電極は外部電磁誘導の影響を少なくする為、2ヶ撚り構造になっていますが、電力ケーブル等との長距離平行配線は避けて下さい。
- 断線検知端末が使用電圧300V以上の電力ケーブルと交差する場合、断線検知端末に絶縁性の隔壁(プラスチックモール等)を堅ろうに取り付けて保護して下さい。
- 断線検知端末は漏水を検知した後、水分が蒸発すれば復帰しますが、水の中に導電性、撥水性の汚染物質などが溶解している場合は復帰しない事があります。この場合は断線検知端末を取り替える必要がありますので交換可能な敷設方法を採用して下さい。

目 次

	頁
1. 適用範囲	1
2. 構造	1
3. 仕様	1

1. 適用範囲

本書は位置検知型漏水センサの断線事故に起因する漏水検知不能事故を防止する為に開発された、位置検知型漏水センサ用断線検知端末(ZT-L)に適用します。

2. 構造

ZT-Lの構造を図-1に示す。

電極1(赤色)：錫メッキ軟銅燃り線0.75mm²上にプラスチック糸編組

電極2(青色)：錫メッキ軟銅燃り線0.5mm²上にプラスチック絶縁

電極3(白色)：抵抗線上にプラスチック糸編組

外部編組：プラスチック糸編組

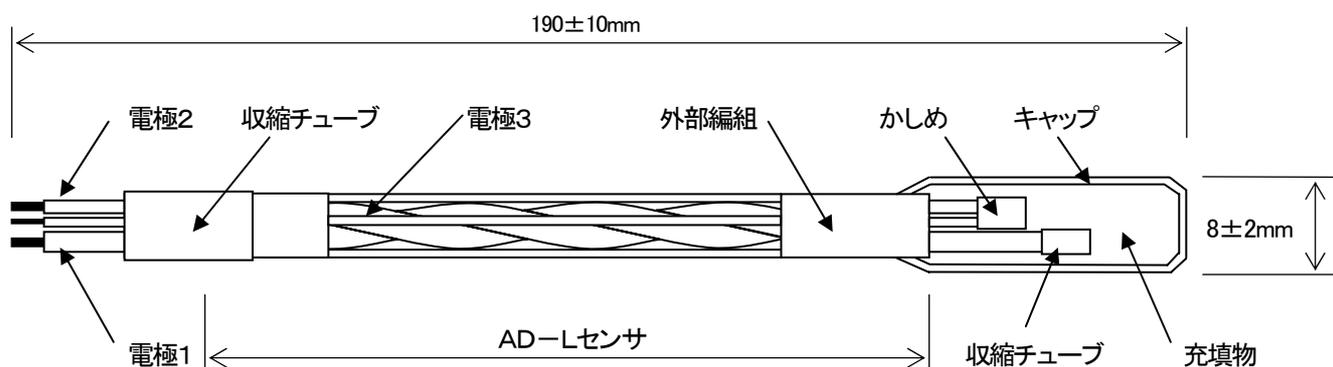


図-1. ZT-L姿図(キャップ部断面)

3. 仕様

ZT-Lの仕様を表-1に示す。

表-1. 仕様

項目	仕様	
使用部品	AD-Lセンサ 電極抵抗(DC)	電極1: 26.60Ω/km(20℃)「標準値」 電極2: 36.70Ω/km(20℃)「標準値」 電極3: 10.86Ω/m(20℃)「標準値」
	キャップ	PVCチューブ成型品
	充填物	脱オキシムタイプのシリコーンゴム
吸水(感度)特性	電極間抵抗が3.0ml以下の水量で漏洩検知。 (0.05ml/秒で水滴をセンサに直接滴下した場合: 市水) 漏水検知位置の特定は±1m以内の精度	
耐湿特性	高湿雰囲気中でも結露が無い限り検知せず	
復帰性	漏水検知後、自然状態(センサに給水が無い状態)で30分以内に復帰、 但し、漏水の中に導電性、撥水性等の汚染物質が含まれている場合は再使用不可	
耐熱性	連続使用温度 60℃以下	
重量	約15g/本	